

◆ 3月8日 市田忠義副委員長を迎え演説会を開催

日本共産党栃木県委員会と同中部地区委員会は8日夜、市田忠義党副委員長を迎えて宇都宮市で演説会を開きました。

市田氏は、4年前に799票差で野村候補が惜敗し、共産党の議席がない県議会について、「ほとんどの議案に全会派が賛成する『オール与党』の翼賛議会化し、県政に県民の声が届かなくなった」と指摘、「県議会に、野村さんを再び送り出せば、県政をチェックし、県民の声を届けることができる」と訴えました。

国政問題では、大企業優先の経済政策「アベノミクス」や、介護現場の崩壊につながる介護保険法大改悪などを批判し、党の対案を説明。いっせいで地方選挙で勝利し、安倍暴走政治に審判をと訴えました。

野村せつ子氏は、「いのちとくらし最優先の県民に暖かい県政にするために全力で頑張ります」と決意表明、まき昌三、ひらの正美県議予定候補2氏があいさつをおこない、荒川つねお、福田くみ子両宇都宮市議が複数議席確保への決意を述べました。



聴衆の声援に応える市田副委員長（右から4番目）と候補者